

短期プログラム

TGL 4 海外留学・インターンシップ

TGL 5 海外アクティビティ

TGL 7 Toyo Global (TG)ポイント

学部主催海外研修プログラム

★のついたプログラムは、他学部の方も参加可能です。詳細は、各学部の教務課へお問い合わせください。

学部名	実施期間	プログラム名	国	研修言語	研修内容・前年度(過年度)実績等	オンライン/渡航	募集時期	単位認定対象科目例※1	参加費用※2
文	2~3月 (春季休暇中)	海外文化研修 (インド)	インド	日本語・英語	デリー、ヴァラナシー、アーグラを訪れ、インドの宗教・文化・芸術などを視察・体験し、理解することを目的としており、Banaras Hindu Universityの学生とのセッション等を実施。	渡航	10~11月	海外文化研修IまたはII	約30万円(予定)
	2~3月 (春季休暇中)	海外文化研修 (ウズベキスタン)	ウズベキスタン	日本語・英語・ウズベク語	日本語教員を目指す学生が、協定校であるウズベキスタン世界言語大学において日本語教育実習を行うことを目的とした海外研修。研修中は、教育実習を軸に、現地大学生・ホームステイ先の家族との交流や、歴史的に日本と関わりがある場所の視察も実施。	中止の可能性あり	10~11月	海外文化研修IまたはII	約30万円(予定)
	2~3月 (春季休暇中)	海外文化研修 (スロベニア・リュブリャナ大学)	スロベニア	日本語・英語・スロベニア語	協定校であるリュブリャナ大学における約2週間のプログラムに参加し、日本とスロベニアの大学生が両国の言葉や文化についての理解を深める研修。研修中は、スロベニア語の授業のほか、双方の文化を発表し合う時間などがあり、準備のための事前学習も実施。	中止の可能性あり	10~11月	海外文化研修IまたはII	約43万円(予定)
	2~3月 (春季休暇中)	海外文化研修 (イタリア)	イタリア	日本語・英語・イタリア語	学生の国際的視野の涵養と能力育成を目的にフィレンツェやヴェネツィア等の都市を訪れ、文化施設の視察をするほか、フィレンツェ大学、サレント大学、ヴェネツィア・カポスカリア大学の学生との交流を実施。2018年度の同研修には34名の学生が参加した。	渡航	10~11月	海外文化研修IまたはII	約52万円(予定)
経済	8月 (12日間)	★海外経済研修Ⅰ：中国	中国	日本語・英語	中国経済および文化を現地にて体験することを目的に、現地の大学での中国経済・社会・文化に関する講義の受講、現地企業や工場などの視察、世界文化遺産の見学等を実施。	渡航	4~5月	海外経済研修Ⅰ	約25万円(予定)
	8~9月 (15日間)	★海外経済研修Ⅱ：米国 (ハワイ・ハワイ大学マノア校)	アメリカ	日本語・英語	ハワイ大学の中でも中核的な位置付けであるマノア校にて70時間以上の講義を英語で受講し、経済・文化・環境に対する理解を深めることを目的にフィールドワークや現地学生との交流を実施。	渡航	4~5月	海外経済研修Ⅱ	約45~50万円(予定)
	3月 (12日間)	★海外経済研修Ⅲ：欧州 (ドイツ・マールブルク大学、フランス・ストラスブール大学、パリ)	ドイツ・フランス	日本語・英語・ドイツ語・フランス語	現地大学教授による経済学その他の特別講義を受講するとともに、現地学生との交流会を実施。また、施設見学やグループ毎の自主研修なども行い、ヨーロッパの経済、社会、文化、歴史などを体験的に学習。	渡航	10~11月	海外経済研修Ⅲ	約37万円(予定)
経営	8月 (3週間)	★海外経営研修 (オックスフォード大学・ハートフォード校)	イギリス	英語	夏季休暇中に3週間(8月下旬-9月中旬)オックスフォード大学ハートフォードカレッジにて講義を受講しながら、ビジネス英語、イギリス経済とビジネスに関する知識を学ぶ研修プログラム。経営学部教員2名が引率。2019年度は18名の学生が参加した。	中止の可能性あり	4月	「海外経営研修」等	約68万円
	9月 (10日間)	★海外企業実地研修(タイ)	タイ	日本語・英語	夏季休暇中(9月予定)泰日工業大学にて、タイの経済・経営、日系企業の経営等の座学と学生交流を実施。経営学部教員2名が引率。2019年度は12名の学生が参加した。	中止の可能性あり	5月	「海外企業実地研修」等	約15万円
法	8月 (2~3週間)	★夏季英語音声学セミナー (ロンドン大学)	イギリス	英語	ロンドン大学(University College London)にて英語音声学の知識と技術を身につけて、音声コミュニケーション能力の向上を目指すセミナー「SCEP」(UCL Summer Course in English Phonetics)を受講。「SCEP」は1世紀に及ぶ伝統を誇り、毎年100名を超える人々が世界中から参加。期間中は、ロンドンの文化の中心であるウエストエンドにあるロンドン大学の学生寮に滞在。	未定	4~5月	語学研修A	約65万円
	2~3月 (3~4週間)	★ドイツ語学研修 (バイロイト大学)	ドイツ	ドイツ語	異文化理解力とドイツ語力向上を目的に2015年度より実施している。2019年度は、まず第二次世界大戦の末期、当時の体制に抵抗するように市民の「良心」に呼びかけるビラをまく運動をしたミュンヘン大学生と教授のグループが、反逆罪で死刑判決を言い渡された事件(「白バラ」事件)の公判があったバイエルン州裁判所を見学。その後、バイロイトに移動し、バイロイト大学の外部団体が運営する語学講座を受講し、ヨーロッパ諸言語共通参照枠A2の認定を受領。全日程、ホストファミリー宅に滞在。バイロイト大学法学部生とも交流し、法学・異文化両面でも同世代との交流を実施。	未定	10月	語学研修B	約45万円
	2~3月 (3週間)	★短期平和学研修 (トロムソ大学)	ノルウェー	英語	世界最北の大学でオーロラベルトにあるノルウェーのトロムソ大学の平和学集中講義に参加し、平和や国際関係について英語で学ぶとともに、先住民族であるサーミ族の自治区を訪問し、異文化理解を深める研修。例年15名程度の学生が参加している。	渡航	8~9月	海外法学研修	約60万円
社	夏季 休暇中 (8~21日間) (予定)	国際社会体験演習 (海外コース)	派遣先により異なる	派遣先により異なる (主に英語)	国際社会科学1年生を対象とした、現場立脚型のグローバルシティズンシッププログラムの海外コース。多文化共生や多様性の推進・活用を実践する公共機関、企業、大学等と連携して国際社会のフィールドワーク、現地当事者との討議、多文化共生企画の創案を軸とする実践的な現場教育を実施。	渡航	未定	国際社会体験演習	約20~40万円
	11月 (10日間)	社会文化体験演習 (国際理解分野) インドネシア フィールドスタディツアー	インドネシア	英語	東ジャワ州シダルジョ県とスラウェシ島マカッサルを訪れ、エビ養殖池やエビ加工・輸出企業を見学・観察。そして、エビ養殖従事者とエビ加工工場の作業員に対して彼らの仕事・生活に関する聞き取り調査とライフヒストリー調査を実施。また、異文化コミュニケーション能力の向上を目的とし、シダルジョとマカッサルでは日本で行った調査の結果をエビ養殖従事者、加工工場の作業員、大学生に対して発表し、知識交流を実施。さらに、インドネシアの文化と生活の多様性に対する理解を深めるため、イスラム文化の強いジャワ島やスラウェシ島とは異なり、ヒンドゥー文化が息づくバリ島を訪問。	渡航	※3	国際文化事情C	約20万円
	12月 (10日間)	社会文化体験演習 (キャリア分野) ラオスタディツアー	ラオス	英語	ラオス南部ボラン高原のコーヒー生産地域において、小学校での算数教育支援プロジェクト等を実施。また、現地の生活を体験するワークキャンプや、コーヒー生産者の家庭を訪問し家計調査も実施。	渡航	※3	国際文化事情C	約20万円
	2月 (9日間)	★社会福祉学科タイ研修	タイ	英語	参加学生がタイ国などアジア諸国に点在する貧困地域に向き、実際に現地の大学やNGOとの貧困撲滅に関する共同作業を通じて、前述の目的の達成を目指すプログラム。タマサート大学の学生との交流、児童福祉施設等の訪問に加えて、ボランティア活動にも従事。	渡航	5~6月	国際文化事情D	約25万円
	春季 休暇中 (10日間)	★犯罪心理学の視点から 司法・医療・産業の現場を 学ぶ海外研修プログラム	アメリカ	英語	シリアルにおいて司法機関を視察することにより、犯罪という過酷な社会事象を社会心理学の学びをベースに、グローバルな観点から学習。さらに、グローバル・キャリアをにらんだ企業研修のプログラムを通じて、ボランティアも体験予定。本研修での学びを通して、「異文化環境における課題解決能力」の強化を目指すグローバル人材として、学生が成長することを目的とする。	渡航	未定	国際文化事情F	約50万円

学部名	実施期間	プログラム名	国	研修言語	研修内容・前年度(過年度)実績等	オンライン/渡航	募集時期	単位認定対象科目例※1	参加費用※2
国際	2~3月 (14日間) <small>(オンラインプログラムを実施する場合は、夏季休暇期間中を予定)</small>	ワシントンDC 研修プログラム	アメリカ	英語	国際社会に対する関心を深めるとともに、長期留学に対する動機づけを行うことを目的とする。国際政治の中心地であるワシントンD.C.にある国際機関やシンクタンク等での訪問セッション、大学での授業受講、ボランティア活動等を実施。これに加えて、ニューヨークでは国際連合やアメリカの歴史に関する記念館・博物館等を訪問。2019年度は世界銀行や国際通貨基金、戦略国際問題研究所への訪問、ジョージ・ワシントン大学とアメリカン大学での授業参加と学生交流、フードバンクでのボランティア活動を行った。また、ニューヨークでは、国際連合が主催するツアーへの参加や移民博物館などアメリカの歴史を学ぶための施設を見学した。	渡航 (オンライン) ※オンラインプログラムは検討中。	10~11月 実施の場場合は別添葉内	(~2020年度入学生) Global Innovation Practicum II Global Innovation Practicum III (2021年度入学生) Global Innovation Practicum I	約38~47万円
	2月 または 3月 (14日間)	ラーニング・ジャーニー	スペイン・イタリア・フランスなど	英語	グローバル・イノベーション学科の目指す人材育成に従い、グローバル社会の課題を認識し、創造性を養い、起業家精神を学ぶことを目的とする。現地で起業家から話を聞いたり、起業家とともにプロジェクトに参加したりすることで、様々なビジネスモデルや、社会におけるプロジェクト、行政のしくみ等を学習。2018年度は、スペイン諸都市(マドリッド、ビルバオ、サンセバスチャンなど)において、先進的なイノベーション関連施設の訪問、起業家との意見交換、起業家精神育成のためのアクティビティを行い、また2017年度はスペイン(ビルバオ・サンセバスチャン)とイタリア(フィレンツェ)のイノベーション起業家との対話やフィレンツェの芸術や遺跡を中心としたツーリズムの起業家たちによる研修を行った。学生は各プログラムを通じて、創造性やイノベーションの概念と精神を学び、今後の学習への意識を高めるきっかけとなった。新型コロナウイルスの影響を見定めつつDXを取り入れ、オンラインによるバーチャルと、オンサイトの現地研修とのハイブリッドによる実施も視野に試行実験もしている。詳細は、別途学科や教務課から案内する。	渡航 (オンライン) ※オンラインプログラムは検討中。	9月	(~2020年度入学生) Global Innovation Practicum II (TPD LJ1) Global Innovation Practicum V (TPD LJ2) (2021年度入学生) Global Innovation Practicum II (TPD LJ)	約45万円
	夏季 休暇中	国際地域学研修(海外)	タイ・モンゴル・ベトナム・中国	主に英語	異文化理解力の向上やフィールドワークの技法の習得を目的とし、教員の引率・指導のもと、各派遣先地域における課題について学生が主体的にフィールドワークを実施。2020年度は、タイ研修(11名)・中国研修(7名)をオンライン形式や国内活動に変換し、実施した。現地大学教授をオンラインにて招聘した他、関連する国内企業を訪問し、グループワークや調査を行った。	渡航	コースにより異なる※4	国際地域学研修Ⅲ・Ⅳ(タイ) 国際地域学研修Ⅵ・Ⅷ (モンゴル・ベトナム・中国)	約15~25万円
夏季 休暇中 春季 休暇中	SFS (Student-led Field Study) (海外)	韓国・タイ・ミャンマー	派遣先により異なる (主に英語)	異文化理解力の向上やフィールドワークの技法の習得を目的とし、多様な経歴を持つ教員の指導のもと、学生達のみで各派遣先地域へ外出し、フィールドワークや現地大学生・現地住民との交流等を実施。2020年度は、タイ(15名)とミャンマー(18名)のコースをオンライン形式で実施した。それぞれ担当教員が各地域の特色等を講義した他、現地で活動しているNGO団体や大学教授等をオンラインにて招聘し、異文化への理解を深めた。	渡航	夏季: 春学期履修登録期間中 春季: 秋学期履修登録期間中	フィールド調査 実習Ⅲ (韓国・タイ) フィールド調査 実習Ⅳ (ミャンマー)	約25~50万円	
国際観光	8~9月/ 2~3月 (2~3日間)	夏季・春季 インターンシッププログラム	派遣先により異なる	派遣先により異なる (主に英語)	海外のホテルなどの現場で実際に働いて、海外勤務を体験します。今まで顧客の立場で企業が提供するサービス等を利用していただけと思いますが、このインターンシップを通じて、提供側の視点を持つことになります。実際に働くことで身に付けられるコミュニケーション力、問題解決能力を成長させることはもちろん、その国独自の文化・労働慣習などを体験します。	渡航	4~5月 (夏季) 10~11月 (春季)	海外インターンシップI~IV等 ※事後履修科目	約25~50万円
	2~3月 (3週間)	海外国際観光学研修 (短期) ハワイ大学マノア校コース	アメリカ	英語	世界有数の観光地であるハワイの視察や、ハワイの歴史と文化の学習、一流ホテル見学およびマネージャークラスの講演会の拝聴を通じて、実践的語学能力を向上させることを目的とする。 プログラムの内容(例)月~金:午前にはハワイの文化や移民の歴史等のレクチャーを聴き、午後には英語によるアカデミックリサーチの手法を学び、成果物としてプレゼンテーションなどを実施。週末:観光地の視察や一流ホテルの見学。	渡航	4月 ※変更の可能性あり	一括認定単位等 ・国際観光学研修Ⅱ ※事後履修科目	約50~60万円
	2~3月 (2週間)	海外国際観光学研修 (短期) 義守大学コース	台湾	中国語・英語	台湾南部最大の総合大学である義守大学で、台湾の観光学の基礎を学ぶことを目的に中国語を集中的に学習。 プログラムの内容(例)月~木:午前・午後とも中国語授業に加え、文化の授業(台湾のお茶の文化など)。金曜日/週末:見学と現地の人々との交流。	渡航	9月	一括認定単位等 ・国際観光学研修Ⅱ ※事後履修科目	約25~35万円
	2~3月 (3週間)	海外国際観光学研修 (短期) ミュンヘン大学コース	ドイツ	ドイツ語・英語	ミュンヘン大学付属のプログラムに参加することで語学力の向上を目指す。また、ドイツ人の生活に触れ、ヨーロッパ文化を異文化として受容する素地を得ることを目的にホームステイを実施。 プログラムの内容(例)月~金:午前中はドイツ語研修、午後はドイツ事情と観光に関連した講義と見学。週末:エクスカーション。	渡航 ※中止を余儀なく される場合は、 オンラインプログラム を実施。	9月	一括認定単位等 ・国際観光学研修Ⅱ ※事後履修科目	約40~50万円 ※5
ライブ	8月 (15日間)	韓国研修 (カトリック上智大学)	韓国	韓国語	専門分野の理解、韓国文化および韓国文化に対する理解を深めることを目的に、幼児教育、福祉ケア、救急状態などの状況をシナリオで構成し、それに基づくシミュレーション実習、また、韓国語プログラム、伝統儒教文化プログラム等に取り組む。	渡航	1月	調整中	研修費・韓国政府負担 海外旅行保険、その他 必要経費(土着代 などは自己負担)
	9月 (7日間)	ドイツ研修	ドイツ	ドイツ語	体育先進国であるドイツにおけるスポーツ文化や健康文化に関する知見を深めるため、ドイツ体育大学や現地の体育施設、文化施設視察等を実施。2019年度は14名が参加した。	中止の可能性もある ただしコロナの 状況によっては	5月	国際スポーツ 交流A	約29万円
	2~3月 (2週間)	短期海外語学研修 (セブ島)	フィリピン	英語	現地での英語研修をはじめ、現地の幼稚園での視察や園児との交流、孤児院視察、小学校訪問、フェートレード事業の視察を通じて英語力の向上、異文化・多文化共生への理解を深めるプログラム。2019年度は13名が参加した。		9月	グローバル化と文化A	約30万円
	2~3月 (2週間)	短期海外語学研修 (ニュージーランド)	ニュージーランド	英語	ニュージーランド現地でのフィットネスジム体験やマオリの伝統文化に触れるイベントへの参加、豊かな自然環境を生かした野外教育プログラムへの参加、オークランド工科大学での特別講義、スポーツ教室補助体験を通じて異文化理解、世界最先端のトレーニングプログラムやスポーツ科学研究の現場を体験するプログラム。		9月	グローバル化と文化A	約32万円
理	2~3月 (16日間)	海外研修プログラム (ペース大学)	アメリカ	英語	実用的英語運用能力の強化を研修の中心とし、語学力向上を目指す。ニューヨーク・ペース大学で英語授業を受講し、専門分野の入門的知識習得に関連した見学を実施。さらに、研修全期間を通じて使用言語を英語とし、ペース大学の学生や教職員との交流を積極的に行うことで、米国人の生活や文化を学習。2019年度は9名の学生が参加した。	渡航	7~10月	Speaking I Speaking II Speaking III Speaking IV	約46万円
	2~3月 (14日間)	海外研修プログラム (チュラロンコン大学)	タイ	英語	タイ全土で最も歴史が古い大学であるチュラロンコン大学で、タイ文化の理解及び都市問題やコミュニティ開発、建設事情について、講義や様々な現場の調査を通じて理解を深める。2019年度は4名の学生が参加し、国際的視野を持ち、専門分野で活躍するために必要な英語力の会得とアジア圏の生活や文化を学ぶ機会となった。	渡航	7~10月	短期海外研修 I 短期海外研修 II 短期海外研修 III 短期海外研修 IV	約20万円
総務	2~3月 (20日間)	★海外研修プログラム (短期) カリフォルニア州立大学	アメリカ	英語	授業とホームステイ先において英語に触れ続けることにより、英語で自発的に意思疎通する能力を養うことを目的とする。2019年度は18名の学生が参加し、カリフォルニア州立大学ペーカースフィールド校において、アメリカ人講師による授業および現地ホームステイを体験し、英語力や英語学習へのモチベーション向上、異文化体験による国際的な視野会得の機会となった。	渡航	4~5月	Remedial English I Remedial English II Academic English	約46万円
食	3月 (4週間)	★海外英語研修 プログラム in Canada	カナダ	英語	語学力の向上および異文化体験を目的に、カナダのヴィクトリアで4週間の語学研修およびホームステイを体験。ヴィクトリア大学イングリッシュ・ランゲージ・センターにおける語学レッスンの他、屋内外での様々なアクティビティが用意された充実のプログラム。2018年度は23名の学生が参加した。	渡航	6月	海外文化研修 (2単位)	約50~55万円

※1 掲載されている単位認定科目は一例です。詳細は、所属の教務担当部署にお問合せください。 ※2 実施形態(オンライン/渡航)の変更により、参加費用等に変更が生じる場合があります。 ※3 4月の履修登録時に「社会文化体験演習IAJ」を受講し、その後、5月にスタディツアーの申込書を担当教員に提出する必要があります。 ※4 詳細は履修登録のしおりやToyoNet-ACE等で確認してください。 ※5 オンラインプログラムの場合は金額変更あり。 ※全てのプログラムが単位認定の対象となります。 ※コロナウイルスの影響により、プログラム内容の変更・プログラムの中止・延期の可能性がります。

文:文学部 経済:経済学部 経営:経営学部 法:法学部 社:社会学部 国際:国際学部 国際観光:国際観光学部 ライフ:ライフデザイン学部 理:理工学部 総務:総合情報学部 食:食環境科学部

留学・海外研修プログラム
留学準備
留学・海外研修プログラム
短期プログラム
留学・海外研修プログラム
中長期プログラム
留学に必要な情報 危機管理・費用・就職
留学・海外研修プログラム
国際教育プログラム
キャンパスでの国際交流